

令和7年6月6日

白川郷学園
保護者の皆様

白川村立白川郷学園
校長 川瀬 秀樹

白川郷学園における熱中症対策について（お知らせ）

日ごと、時間ごとの気温の変化が大きい季節となりました。保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。また、平素は学園の教育にご理解と温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、日中の気温が高く、お子さんの熱中症が心配される季節となりました。学園においても、国や県からの通知を受けて熱中症に関する危機管理マニュアルを作成し、お子さんの生命の安全を最優先に取り組んでいるところです。一部とはなりますが、学園の取組について共有しますので、ご家庭でも話題にさせていただけると幸いです。

記

1 活動実施に関する判断について

- ・熱中症の危険性を判断する基準として、暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）の測定値に基づいて活動実施を判断します。また、環境省の「熱中症予防情報サイト」で地域ごとの実況値、予測値も参考にして判断します。
- ・暑さ指数が3.1以上（気温ではありません。）の場合は、原則としてグラウンドでの活動は中止とします。健康に被害が生じるおそれがあるとされる暑さ指数が3.3を超える場合は、躊躇なくグラウンドや体育館での活動は中止とします。
- ・暑さ指数計は、グラウンド【写真①】及び体育館【写真②】に設置して定点観測をするとともに、各学年のどの教室からも見える位置に「赤」「黄」「青」ののぼり旗をもって、それぞれ「活動中止」「留意しながら活動可」「活動可」を示します【写真③】。また、全校放送で子どもたちと共有します。これを学園の健康リーダーである7年生の活動として位置付けます。（子どもたちに責任を負わせるという意味ではありません。）



2 熱中症事故を防止するために

(1) 未然防止に向けて

- ・活動中や活動前後に適切な水分補給や休憩の時間を確保します。
- ・屋外での活動では、帽子を着用するように指導します。
- ・風通しをよくするとともに、空調設備（エアコンや扇風機等）を適切に使用します。

「何℃になったら使用可能…」とはせず、気候や子どもたちの状況を見て適切に判断することとします。

- ・活動内容を変更することも想定しています。
- ・特に体がまだ暑さに慣れていない今の時期は、特に熱中症事故のリスクが高くなることを踏まえ、暑熱順化（暑さに慣れる）できる期間を設ける等、適切に対応します。
- ・通学バスへの置き去り事故を防止するために、子どもの所在確認を徹底します。ご家庭からの欠席等の連絡も、変わらず8時までに学園へお願いします。

(2) 体調に変化が見られた場合

- ・熱中症の疑いのある症状が見られた場合には、ただちに体を冷却します。同時に、校内インターフォン等を使って速やかに管理職、養護教諭等と連携し、一次救命処置や救急車の要請を行います。
- ・状況に応じて、関係児童生徒の保護者に連絡し、対応を相談させていただきます。

3 児童生徒等への熱中症防止に関する指導について

自ら体調管理等を行うことができる一人ひとりになるために、児童生徒の発達段階等を踏まえながら、以下の点について、その都度、指導します。

- ・帽子を着用すること、通気性・透湿性の悪い服装等を避けること
- ・運動中、運動前後に、適切に水分を補給し、休憩をとること
- ・体調不良を感じた場合は、ためらうことなく教職員に申し出ること
- ・仲間どうしで互いに水分補給や休憩の声がけ等を行うこと
- ・運動等を行った後は、十分にクールダウンする（体を冷ます、汗を拭く）など、体調を整えた上でその後の活動（登下校を含む）を行うこと

4 その他

- ・熱中症事故の防止について、学園の教職員の理解を深めるために、計画に基づいた教職員の研修を実施します。

	白川村立白川郷学園		
	本件担当者	川瀬 秀樹（校長）	
	〒501-5629 大野郡白川村鳩谷6 1 4 番地 1		
TEL	05769-6-1366	FAX	05769-6-1903
E-mail	srkwg02@shirakawa-vill.ed.jp		